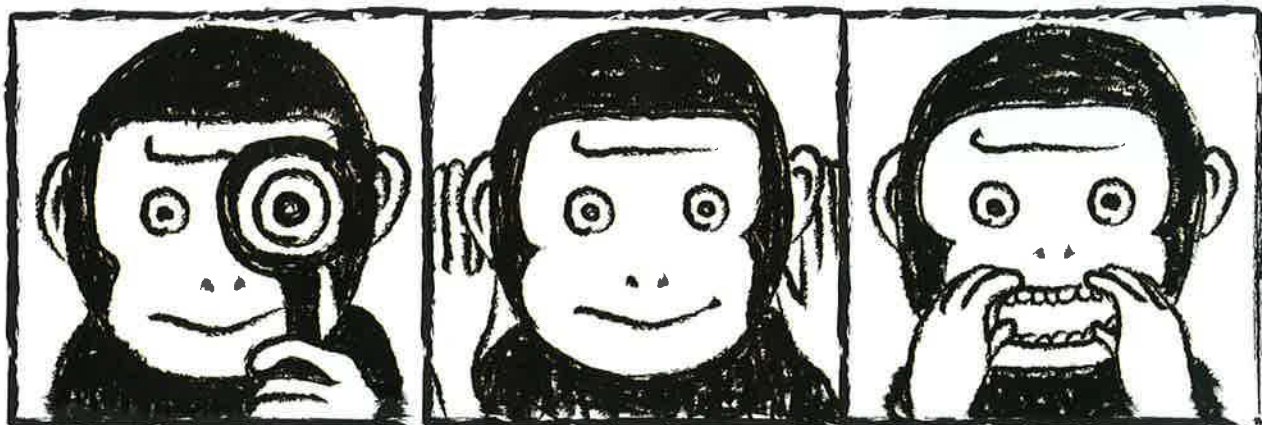


子どもから大人、若者から高齢者に至るまでのすべての人の文化を

文化高知

2016年1月 NO.189



[もくじ]

- 2~3 ピノキオさんが生まれた国で(第一回) 子どものための舞台の秘密…並河咲耶
- 4~5 バックギャモンの魅力…下元正人
- 6~7 生誕一二〇年 宮沢賢治を読む…谷岡真衣
- 8~9 高知を解く② 『高知型』か 『高知版』か、の分岐点…福田善乙
- 10~11 高知県のムラサキオカヤドカリ覚え書き(1)…町田吉彦
- 12~13 高知市文化振興事業団11月~12月の事業から
- 14~15 風俗歳時記・風伯

ピノキオさんが生まれた国で(第一回) 子どものための舞台の秘密



並河 咲耶

あけましておめでとございませう。
そして、はじめまして。
二〇一六年、一年間、隔月でイ
タリアはマントバという町から原
稿をお届けすることになりました
並河と申します。文化高知の読者
の皆様、一年間、どうぞ宜しくお
願い致します。

マントバは、ミラノとベネチア
のちょうど中間に位置していて、
どちらも電車で二時間くらいの距
離です。と言っても、私の通常の
行動範囲にはどちらも入っていない
のですが、先日は公演のために
ミラノへ。

ミラノといえば、ファッション
やデザインです。せつかくなので、
家族で今年オープンしたというプ
ラダ財団に足を運ぶことにしまし
た。さすが、おっしゃれ〜！です。
両親が、足を踏み入れても良いの
だろうか...?と入口付近で気後れ



しているのもよそに、四歳の娘は、
既に広大な敷地を駆け回り楽しんで
います。イタリア人は基本的に
子どもに優しいので、駆け回る子
どもを羨ましそうに見ています。
私達のようなオノボリさんでない
ミラネーゼ達はそれぞれお洒落な
洋服に身を包み、颯爽と、この空
間を楽しんでいるようでした。

写真は、ダミアン・ハーストと
いうアーティストの作品です。こ
の水槽の中にカラフルな魚がたく
さん：上には巨大な清浄機がある
のですが、究極の発想の具現化と
も言えそうで：感心しますねえ。

を稽古し、上演という形にこだわ
るのでしょうか？

答えは明白です。生身の子ども
達を対象に行う公演は、一回で、
一週間稽古しても得られない答え
を提示してくれるからです。彼ら
を前にすることで、面白いところ
もつまらないところも、すぐに浮
き彫りになるからです。

そして、こうして改良に改良を
加えたうえで、三月のショーケー
スとも言えるフェスティバル、つ
まり、次シーズン以降の仕事に結
びつづべき機会に臨みたいと考え
ています。

私達のカンパニーは、イタリア
やフランスの公共劇場で作品を上
演することを主な収入源としてい
ます。国、地方政府、市からも年
間の活動に対して、補助金をもら
っています。申請者は一定の国
内・欧州圏内での上演活動を行う
義務があります。

近年のイタリアでは減少傾向に
ありますが、公共劇場では、平日
の学校対象公演ならびに土日に行
われるファミリー向け公演が年間
を通してプログラムされており、
劇場に行くことも、教育の一環と
して捉えられていることが窺えま
す。

地元の誇る歴史ある美しい劇場
に行く、という体験は、忘れ難い
特別なことです。だからこそ、学
校の授業として一年に一度でも足
を運ぶことが出来れば、日常の延
長として描くことの出来る場所に
成りうる可能性があります。

マントバでは毎年秋、子ども・
ファミリー向けの舞台作品のフェ
スティバルが開催されており、ち
ょうど二〇一五年に十回を迎えま
した。十年続いていると、観客と
して参加していた子ども達が、ポ
ランテアとして参加し始める例
もあるようです。

もう一つ、カンパニーの運営に
ついて特記しておくべきことは、
照明機材・音響機材を所有し、ツ
アーしているということでしょう
か。機材がほとんど設置されてい
ない小さな劇場や、公民館のよう
な場所でも公演を滞りなく行うこ
とが出来ます。

私達が十一月、一月と稽古に利
用した劇場には、いわゆる管理・
技術スタッフさんは常駐していま
せん。市の所有物として、市役所
の担当者が管理しており、鍵の開
け閉め、暖房スイッチを入れてく
れる程度です。

それでも、劇場を保有していな
いカンパニーとしては、その町の

ミラノを訪れる際には是非、Tom
dazione Pradaで調べてみて下さ
い。

さて、ここイタリアで、私は何
をしているのかと言いますと、料
理の修行に来たわけでも、オペラ
歌手になりたくて来たわけでもあ
りません。そもそも、イタリアは
私にとつては、一生縁がないだろ
うと思っていた国の一つでした。

にも関わらず、何をどう間違えた
のか、気づけば、テアトロ・イン
プロヴィンゾという子どものため
の舞台を上演するカンパニーを主
宰するパートナーと娘と共にふら
ふらと移動しながら暮らすようにな
って、四年が経ってしまいました
た。その間、音楽家として舞台に
立ったり、経理をしたり、翻訳を
したり、日本にイタリアの作品を
紹介したりしてきましたが、なぜ
こんなことになったのでしょうか
...?

それは、日本で様々な舞台に関
わりながら、特に欧州からやって
来る、子どものための舞台の魅力
に私が取りつかれていたせいかも
しれません。いったいどうやって、
こんなに輝きと驚きに満ちた作品
が出来たんだろう、その秘密を知
りたい、と密かに思っていたのが
理由なのかもしれません。

学校を対象に公演をすることと引
き換えに、劇場機構で一定期間稽
古も出来るというのは大きなメリ
ットで、お互いに一石二鳥です。
小さい町ならではの、学校・教育
関係者の繋がりを利用して実現で
きていると言えます。

と、今回はここまでで時間切れ
です。では、また三月に！
Arrivederci

【おまけ】
秋口のショーウィンドウには、
季節の柿がたくさん並びますが、
スーパード柿は「CACHI」と表
示されています。



イタリアでは、Kという文字は
使わないので、日本でいう「かき
くけ」はCA・CHU・CU・CHE・
COです。そして、イタリア語では
単数形と複数形で語尾が変わりま
すが、柿は一個では「CACO」(カ
コ)、「複数の場合のみ、私達の知
る「CACHI(カキ)」になります。

二〇一五年、十月。テアトロ・
インプロヴィンゾは「5つの卵の
はなし」という作品を高知で滞在
制作し、上演しました。その後、
十一月月上旬には、イタリア人の女
優さん二人を起用して、私達が住
む町の劇場で(人口五千人ほどの
小さな町です)一週間の稽古と朝
の学校対象公演を二回(幼稚園と
小学校で児童計三百人程度)行い
ました。



そして、一月六日にはマントバ
郊外の町の活性化を目指すボラン
ティア団体主催の公演、十三日、
十五日は別のマントバ郊外の町の
劇場での稽古と学校対象公演を予
定しています。

なぜ、私達は、半年の間に、こ
のようにしつこいほど、この作品

かくいう我が家にも、柿の木が
生えています。が、完熟しないと、
アクが強くて食べられません...。
我が家のイタリア人は、アルコー
ルを少し垂らして食べたり、トロ
トロのものを食べて喜んでいま
すが、私はあまり...。干してみたら
?!と試みるも、私達の暮らすマン
トバは霧が濃く、湿度が高く、さっ
ぱり干せませんでした。干し柿は
まだ見たことはありませんが、イ
タリアでもその味は愛されている
ようで、ジェラート屋さんでも、
CACHI味が活躍です。

なみかわ さや

日本で生まれ、高校・大学とア
メリカで異文化の洗礼を受けた
後、帰国するも、現在はイタリ
ア在住。合同会社 Konjac 代表と
して、舞台や文化に関わる翻訳・
通訳業務、日本へのイタリアの
アーティスト招聘事業を行う。
イタリアでは、ダリオ・モレッツ
テイ氏の主宰するテアトロ・イ
ンプロヴィンゾでピアノ・打楽
器演奏、経理を務める。一児の
母。ご意見・ご質問等、お待ち
しています！

konjacinternational@gmail.com
www.teatroallimprovviso.it

バックギャモンの魅力

高知バックギャモン愛好会
下元 正人

【バックギャモンの歴史】

皆さんは、バックギャモンというゲームをご存知でしょうか？「見たことあるけど…やった事はない」「少しやったことはあるけど、忘れてしまった」「初めて聞いた」、色々な方がいらっしゃると思います。

実はこのバックギャモン、チェスやカード(トランプ)と並んで世界中で三億人もの遊戯人口を誇る、「世界三大ゲーム」のひとつなのです。その起源は五千年前のメソポタミアまで遡ることができ、エジプトのピラミッドにも描かれ、ネロ皇帝や楊貴妃など歴史上の人物達も愛好していたと言われています。日本でも飛鳥時代に伝来し「盤双六(ばんすごろく)」という名で親しまれ、正倉院に貴族の宝物として盤が保存されています(しかし…残念ながら日本では、余りにも庶民に親しまれ熱狂され

た為に江戸幕府から強力な禁止令を出され、一旦姿を消してしまつたと言われています)。

【現代のバックギャモン】

バックギャモンは長い歴史を経て、十八〜二十世紀に入り大きな転機を迎えました。アメリカで考案された「ダブリング」というルールにより、プロフェッショナル指向の競技として急速に組織化・国際化が進み、現在はアメリカ、イギリス、デンマーク、トルコ、ロシアなどで運営団体が設立されています。欧米各国では「国際バックギャモントーナメント大会」が盛んに催され、その優勝賞金も数百万円から最大数千万円という高額なものとなっており、プレイヤーたちのレベルアップと、互いにしのぎを削るような緻密な研究が日々行われています。

またバックギャモンはそのファ

ドラマ：盤の周辺にはプレイヤー、観戦者の歓声、ため息が、勝負特有の心地よい緊張感とともに漂います。

【日本のバックギャモン】

現在国内では、日本バックギャモン協会(JBL: Japan Backgammon League)を中心に大会運営や普及活動がなされており、日本選手権・名人・盤聖・王位の四大タイトルを中心に全国各地、またインターネット上で大会・例会が行なわれています。

単独のイベントとして最大のものは十月に三日間にわたり東京渋谷で開催される「バックギャモンフェスティバル」でしょう。国内のみならず海外からも多くのプレイヤーが集う、上級から初級まで含めた国内最大規模のバックギャモンの祭典です。今年も三日間で述べ七百人が参加し、初級の部にも数多くの方がチャレンジされました。

トップの世界に目を向けてみると、世界選手権を中心に著作や講演で活躍されるプロは日本に三人いらっしゃいます。日本人として初めて世界チャンピオンとなった望月正行プロ、また女性として初

ッション性の高さから、カルティエやダンヒルなどの海外ブランドでゲームボードがデザイン・製作されています。価格も数万〜数十(数百?)万円と様々ですが、それを遊ぶ人達にいわゆる「セレブ」が多く、高級ボードをファッション・インテリアとして所有することもステータスとなっています。



このようにバックギャモンは、従来のプライベートな遊戯としての楽しみに留まらないエキサイティングな要素と新たな戦略を加味して、いま現在も発展し続けています。洋の東西、老若男女を問わず、子供から若者、高齢者、カフェ、バー、海や山、旅行先、そしてインターネット上と、悠久の歴史を持ちながら今も最先端のゲームとして、私達の前に存在しているのです。

【バックギャモンのルール】
二人で対戦します。ルールその

五年結成され、漫画家のくさか里樹先生発案の「ギャモろうぜ! K OCHI」を合言葉に現在二十名ほどで活動しています。

参加者の顔ぶれも多岐に亘り、会社員、公務員、医師、柔整師、自営業、ワインソムリエ、音楽家、漫画家など、男女ともに様々な方が参加されています。また結成当初から日本バックギャモン協会を通じて景山充人プロとの知遇を頂き、特別顧問として技術や運営の指導を頂いております。

月に一〜二回の例会を中心に活動しておりますので、ご興味ある方は cnohnopapa@gmail.com までお問い合わせ下さい。今後は

【高知バックギャモンクラブ】高知愛好会の活動



ものとはとても簡単ですのでマスターするのに多くの時間も労力も必要ありません。「交互に二個のサイコロを振り、目に合わせて駒を進め」「先に全ての駒を自陣に集めて、上がりにすれば勝ち」。他に「相手が複数枚居るポイントには入れない」「単数の相手駒はヒットでき、振りだしに戻せる」、など補足的なルールはありますが、原則これだけです。

しかし、ルールのシンプルさとは裏腹にゲーム展開はエキサイティングそのものです。確率計算と偶然性が織りなす悲喜こもごもの



社会人だけでなく青少年の方達にも、優れた頭脳スポーツとして紹介・普及して行ければと思います。多くの方にとってバックギャモンは趣味だと思えますが、コミュニケーションツールとしてバックギャモンは非常に優れており、「人」と「人」とのつながりも広がってまいります。ぜひ皆様もこの、バックギャモンの魅力に触れてみてはいかがでしょうか。



しももと まゆい

一九六八年 高知県香美市生まれ
高校卒業後、進学のため上京。
就職後二十数年間を関東で過ごす。
現在高知勤務、会社員。高知バックギャモンクラブ主催。

生誕一二〇年 宮沢賢治を読む

高知県立文学館 谷岡 真衣

宮沢賢治は岩手県花巻市出身の詩人、作家である。「銀河鉄道の夜」をはじめとした童話の作者として、絵本や教科書で出合った方も多く

いるだろうし、「セロ弾きのゴーシュ」「風の又三郎」「よだかの星」ほか数々の作品が映像化されているので、そちらで見たことや聞いたことがある方もいるだろう。ほかにも宮沢賢治と言えば「雨ニモ負ケズ」という詩を思い出す方もいるのではないだろうか。

しかし、これらの作品はすべて彼の死後に発表されたものである。賢治の死後、弟・宮沢清六氏のほか、彼の才能にいち早く気付いていた草野心平、高村光太郎ら詩人の尽力によって、我々が宮沢賢治作品に触れられることとなった。彼が亡くなって八〇年以上が経つが、彼の作品は今でも多くの人々

を魅了し続けている。そして今年、二〇一六年は宮沢賢治生誕一二〇年という節目の年になる。

賢治作品の魅力は他に類を見ない物語の多面性にある。幼い頃「石ッコ賢さん」とあだ名されたほどの鉱物好きで、後には花巻農学校教師や羅須地人協会など地質学の専門家となった。「樗ノ木大士の野宿」「イギリス海岸」などの作品に地質学の知識が生かされている。また、天体や星座にも詳しく、「銀河鉄道の夜」「双子の星」には見果てぬ宇宙への憧れが描かれている。そして、ベートーベンを好み、自らもチェロを演奏した音楽愛好家でもある。「セロ弾きのゴーシュ」は音楽の薫陶を動物から受ける話である。そして熱心な法華経信者としても知られる。

賢治の作品世界は、地質学や芸術や信仰が、賢治の心象中で化学反応を起こし、また内なることばの宇宙からすくいだされたものである。人間のこうありたいと願う姿が描かれ、イーハトーヴという日本の地方を基盤にした物語群は郷愁を誘い、誰もが心の中に持つ原点にそっと触れ、私たちを魅了し続けるのである。

賢治は生前に発表した童話集『注文の多い料理店』で日本国岩手を心象中のドリームランド、イーハトーヴと呼んでいる。遠く離れた高知とほぼ岩手で暮らした詩人との浅からぬ縁に関して、高知ペンクラブ会長・高橋正氏と文教大学教授（元・高知大学教授）鈴木健司氏が詳しく調べてくださっている。そこで、宮沢賢治と縁のある三人の土佐人についてご紹介しておく。

一人目は阿部孝氏（一八九五～一九八四）。戦後、高知大学教授、学長を務め、名誉教授となった。阿部（以下敬称略）は花巻市にある、鮎弊稲荷神社の神職の家に生まれ、盛岡中学校時代は賢治と同級で、一緒に岩手山登山に出かけた



岩手山（磐石より）

り、実家を行き来する仲であった。盛岡中学時代に賢治が岩手山登山の際、山登りでくたくたになった阿部を詠んだ微笑ましい短歌が残っている。

這ひ松の／なだらを行きて／息吐ける／阿部のたかしは／がま仙に肖る

この歌を詠んだ登山の話や、東京に進学した阿部の住居に、賢治が上京した際に訪ねた思い出話などが、阿部の著書『ばら色のばら』（高知新聞社 一九六五）、「甘口辛口」（同学社 一九五六）には随筆として書かれている。賢治との飾らない同級生の付き合いを感じる事ができ、興味深い。

二人目は近森善一氏（一八九七

～一九八四）である。大正一四（一九二四）年、賢治生前唯一出版された童話集『注文の多い料理店』の奥付に発行人として名前が載っている。近森（以下敬称略）は賢治の盛岡高等農林学校時代（現・岩手大学農学部）の一年後輩にあ



光原社跡（盛岡市）



旧盛岡高等農林学校本館（盛岡市）

たる。『注文の多い料理店』出版に際しては、光原社の及川四郎氏の奔走により実現した、というエピソードが有名であるが、この光原社は、近森と及川氏の二人で立ち上げた出版社である。賢治の童話集を出版するにあたり、その途中で近森は父親の選挙の手伝いのため、帰高せざるをえなくなったが、賢治とは中学の寮が同室で、親しい間柄だった。この詳細については鈴木氏の著書に詳しく書かれている。

三人目は高知の詩人・岡本弥太である。その作風から「南海の賢治」と呼ばれ、郷土の詩人として高知県立文学館でもその業績を顕彰している。生前、『春と修羅』を読み、早くからその才能に気付いていた。岡本の賢治に関する文章は「宮沢賢治追悼」（「榕樹林」第二輯、榕樹詩社、昭和八・一一）、「宮沢賢治へのノート」

（『宮沢賢治追悼』次郎社、昭和九・一）、「春と修羅の我が思い出」（「イーハトーヴ」創刊号、昭和一一・一一）の三冊が知られている。賢治本人との交流を示す資料は確認できないが、岡本が賢治の

存在は知っていたことや、『春と修羅』を読み、感銘を受けたという記述が右記の文章に見られる。また、賢治の死後、その遺言に沿って関係者に弟・清六氏から遺贈された『国訳妙法蓮華経』が届けられた旨の記述も見られる。

現在に至るまで、『賢治ブーム』は何度となく訪れ、賢治研究も隆盛を極め、数あまたの書籍、研究書が出版され、また多くの作家が賢治作品にインスピレーションを得ている。今さら、言葉を尽くさなくても、多くのファンが既に存在しているのだが、私個人の感想ではあるが、やはり十数年前に初めて花巻を訪れた際の感慨は忘れ難い。賢治が過ごした場所、歩いたかも知れない道や景色の中に立つことは文学ファンならずとも、賢治の気配を探してしまうのではないだろうか。

文学館では二月十一日（木・祝）から「宮沢賢治ことばの宇宙展」を開催し、賢治作品のことばをイーハトーヴの写真とあわせてご紹介する。

生誕一二〇年の今年、賢治作品に親しんでいただく機会になれば

幸いだ。

参考

- 高橋正「宮沢賢治と土佐（前）」『土佐倶楽部』9号（一九九八・九）
- 高橋正「宮沢賢治と土佐（後）」『土佐倶楽部』10号（一九九八・一一）
- 高橋正「地の名も無き偉人たち⑤童話作家宮沢賢治の生みの親—近森善一—」『文化高知』NO. 139（二〇〇七・九）
- 鈴木健司『宮沢賢治という現象読みと需要への試論』蒼丘書林（二〇〇二・五）

たにおか まい

一九七八年 室戸市生まれ
同志社女子大学大学院日本語日本文化専攻修士課程卒。国語科教員を経て、二〇一三年より高知県立文化推進課主幹として高知県立文学館で勤務。文学館の教育普及事業担当として、文学講座や児童生徒文学作品朗読コンクール事務局等を務める。
二〇一六年二月十一日（木・祝）より文学館で開催される「宮沢賢治 ことばの宇宙展」担当。

『高知型』か『高知版』か、 の分岐点

福田 善乙

高知県及び高知県下三十四市町村は、今大きな岐路に立っている。これからの地域や自治体のあり方として、それぞれの地域の「地域（高知）型」でいくのか、それとも「地域（高知）版」でいくのかの選択が求められているからである。

文字でいえば「型」と「版」の一字違いであるが、その意味・内容には大きな違いがある。

「地域型」とは、その地域の人たちが、自分たちの発想と自分たちの力で地域の宝物（資源）を最

大限に活用して、地域の発展を図っていくとする方向性である。「地域版」とは、国の発想（往々にして大都市の発想）に基づき、国の政策（全体）に合わせながら、その一部分の役割を果たすことによつて、地域の発展を図っていくとする方向性である。

「地域型」が地域の個性や「らしさ」を大切にして展開するのに対して、「地域版」は国からの例示に従い、画一性や類似性が重視されることになる。なぜ、こんなことが起こっているのか。それは、国が二〇一四年に地方創生政策を国策として出したからである。

すなわち、安倍晋三内閣のもとで、二〇一四年十一月「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、内閣府に地方創生実行統合本部が設置された。そこで同十二月、国全体のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」（人口ビジョン）と「総合戦略」を打ち出したのである。その内容は、二〇六〇年の国全体の人口ビジョンを出生率二・

〇七で一億人程度として想定すること、そしてそれに向けての国の「総合戦略」を提起している。

そして、政府は国の「人口ビジョン」と「総合戦略」を参考に、全国のすべての都道府県と市町村に対して、二〇一五年度末までに、それぞれの「地方（版）人口ビジョン」と「地方版経営戦略」を策定することを求めている。しかも、政府は二〇一六年度の子算として「千八十億円」要請しており、この「地方版人口ビジョン」と「地方版経営戦略」の出来具合によつて、「特別交付金」を査定することになっている。

それゆえ、地方自治体はわずか一年間で「地方版人口ビジョン」と「地方版経営戦略」を作成しなければならぬし、その出来具合で「特別交付金」の交付額に差が出てくるのである。地域や自治体間の生存競争が激しくなることが想定されるのである。

いずれにしても、地方創生政策と言う国の上位計画の下で地方自治体はどのように対応していくの付金をカットされながら、地域の人たちが力を合わせて地域の宝物（資源）を最大限に生かしながら地域づくりをしてきた地域・自治体である。

すなわち、「地域型」で地域づくりをした地域・自治体がいまや地域・自治体のあるべき方向性を示しているのである。

この歴史の教訓に学びながら、それぞれの地域で創意工夫をして地域の発展を図ることを期待したい。

なお、高知県の対応については、拙稿「岐路に立つ『高知県産業振興計画』—『高知型』か、『高知版』か—」（株）四銀地域経済研究所「四銀経営情報」No.147、二〇一五年十一月）で述べているので参照していただきたい。

ふくだ よしお

一九四一年 高知市生まれ
高知短期大学名誉教授、（株）四銀地域経済研究所客員研究員。

かが大きな課題になっているのである。

そのため、各自治体は自分たちの発想で自分たちの力で地域の宝物（資源）を最大限生かしたこれまでの地域づくりを基本に据えて、今の地方創生政策で活用できるものは活用するというスタンス＝「地域型」でいくのか、それとも当面の「特別交付金」の獲得を主眼に置いて、国の地方創生政策に合わせていく方向＝「地域版」でいくのかの選択が求められている。

しかも、地域の将来ビジョンを作成するときは、まず産業政策を始めとして地域の「経営戦略」を立て、その結果として地域の「人口ビジョン」を設定するのが本来の姿であるが、今回の場合一年以内と言う短期間に作成しなければならぬため、多くの自治体はまず「地方版人口ビジョン」を設定し、次にそれを実現するための「経営戦略」を策定すると言う転倒した形で作成する方向にある。目的と手段が転倒していかざるを得ない形になっている。

「地域（高知）型」と「地域（高知）版」の比較

| 「地域（高知）型」 | 「地域（高知）版」 |
|--|---------------------------------|
| ①地域の人たちが地域の実態に基づき力を合わせて地域の発展を考える政策をつくる | ①国からの政策・提案・考え方に依拠して地域の発展の政策をつくる |
| ②地域＝足元からの発想 | ②一般に国からの発想 往々にして大都市からの発想 |
| ③開いていく視点 私（足元）→市町村→都道府県→国→世界 | ③閉じていく視点 世界→国→都道府県→市町村→私 |
| ④高知が支える日本 | ④日本（全体）の一部分（分担）としての高知 |
| ⑤地域の宝物（資源）を全的活用 | ⑤地域の宝物（資源）を部分活用・切り売り |
| ⑥高知の個性・高知らしさが中心 | ⑥国からの例示・他の地域の事例中心 |
| ⑦自主性・自発性・創造性 | ⑦画一性・一律性・模倣性 |
| ⑧能動性・提案性 | ⑧受動性・受身性 |

例えば、高知市は二〇一一年に「高知市総合計画」を策定し、「森・里・海と人の環、自由と創造の共生都市・高知」を高知市の将来の都市像としている。

この高知市が作り上げてきた高知市の発展の方向性と、上位計画としての国の地方創生政策の下で作成される「高知市版人口ビジョン」「高知市版経営戦略」との整合性が問われているといえよう。それでは、これからどうすればいいのか。私は、地域の人たちが自分たちの発想と協働の力で、地域の宝物（資源）を最大限に生かし、その地域らしい形で地域づくりをするを基本にして、国の地方創生政策で活用できるものは活用するという「地域型」で進むことを提案したい。

そのことはこれまでの各地域や自治体の地域づくりの進め方にも表れている。

現在、全国の地域づくりのモデルとなっている島根県の海士町、徳島県の上勝町や神山町、高知県の馬路村や梶原町などの歩みをみればわかることである。

これらの地域・自治体はいずれも二〇〇〇年代の平成の市町村大合併の時代に、国の合併推進政策に従わないで合併せずに、地方交

分科会の代表だったが、今回は魚類分科会の代表で、また、甲殻類分科会の委員も兼ねることとなった。なにかにつけて人材不足の高知県である。これまた仕方ない。高知県レッドデータブック〔動物編〕編集委員会(2002)によると、県内のオカヤドカリ科の種はナキオカヤドカリ *Coenobita rugosus* であり、レッドリスト・カテゴリーの「情報不足」とされた。すなわち、生息状況が分からないという存在である。自由な時間がやたら多く、また、以前から文化財に関わっていた筆者がこの厄介な相手を担当することを分科会で認めてもらった。

迂闊にも見落としていたが、高知県にオカヤドカリ科が産することを初めて記録したのは松澤(1977)で、1975年9月20日に彼が室戸市室戸岬町三津の海岸で発見した個体の写真が図版81の図4に掲載され、ナキオカヤドカリ *Coenobita rugosus* と記されている。その後、松澤(2001)により同様の和名と学名で再び紹介され、形態と生態、天然記念物としての重要性ならびに足摺岬に産することが示された。さらに松澤(2014)は研究の集大成となる室戸半島産の海洋無脊椎動物と海藻のリストを公表し、ナキオカヤドカリが室戸市三津の防潮堤と室戸岬の海岸林に産するとした。

高知県西部のオカヤドカリ科は中地(2009)が明らかにした。場所は大月町の「シウラの浜」である。ただし、形態的特徴からナキオカヤドカリではなくムラサキオカヤドカリ *Coenobita purpureus* であり、また、多数の抱卵個体が確認されたことから、当地での自然繁殖は確実に判断された(中地, 2009)。ナキオカヤドカリとムラサキオカヤドカリは酷似しているが、後者は眼柄に黒斑がないとされる(中地, 2009; 有馬, 2014)。

2014年の7月に甲殻類分科会のメンバーが浦ノ内湾に集まった。「オカヤドカリを調べる予定だが、何か情報は?」と聞いたところ、ある学生から「ジオパークの遊歩道で見ました」という発言があった。室戸市のオカヤドカリについては以前から知人に打診していたが、悲観的な情報だけ、松澤(私信)でも減少が著しいとのこと。「まさか」というのが正直な印象だった。

その年の夏と秋は野外調査には最悪の天候で、オカヤドカリは翌年に持ち越しとなった。初出動は2015年の5月25日、「騙されたつもり」で室戸ジオパークに出かけた。ところが国道から下りて間もなく、低木下の草地でオカヤドカリが簡単に見つかった。発見できることが確実なら、手にしてもよいかどうかを県文化財課に打診するのであるが、情報不足種との遭遇で承諾は次回以降になってしまった。その後の観察では明らかに眼柄に黒斑がない。松澤(2001)の図版の元になったカラー写真を送ってもらったところ、やはり眼柄に黒斑はなかった。

2011年8月27日の高知新聞に、筆者の友人によるナキオカヤドカリにまつわる随筆が動物の写真とともに掲載された。ただし、場所は県西部としかなく、乱獲されては困るという配慮からだろう。場所が土佐清水市であることを教えてもらい、強行軍で土佐清水市とシウラの浜に出かけた。その結果、室戸市と土佐清水市の種もムラサキオカヤドカリであることが判明した。

(II)へ続く

*参考文献は(II)に一括して掲載する予定。

まちだ よしひこ

1947年 秋田県生まれ

高知大学名誉教授、理学博士。

高知県希少野生動物保護専門委員、環境省希少野生動物種保存推進員、高知市民の大学運営委員など、専門は水生動物学、地域の自然史科学。



県西部における典型的な生息環境。崖の下にハマゴウの群落があり、タイドプールが発達している(2015年8月20日土佐清水市)

高知県のムラサキオカヤドカリ覚え書き (I)

Notes on a terrestrial hermit crab *Coenobita purpureus* in Kochi Prefecture (I)

町田 吉彦

本誌では異色の内容と思うが、対象が国の天然記念物であることをご容赦願いたい。また、室戸市と黒潮町以西に広く分布していることが判明したことから、動物だけでなく高知県の自然、環境、文化に関心を寄せておられる方々にもお読みいただければ幸いである。

オカヤドカリは陸上生活に適応したヤドカリである。ただし、種としてのオカヤドカリとオカヤドカリの仲間(属)の総称としてのオカヤドカリがあり、日本産のオカヤドカリ属の種すべてが天然記念物である。オカヤドカリの天然記念物への指定は1970年で、以前からオカヤドカリが多産していたのは小笠原諸島と南西諸島であり、天然記念物への指定当時、離島を除く九州以北のオカヤドカリはほとんど知られていなかったと思われる。ところが県内の調査が進むにつれ、その唯一の例外が高知県であったのは確実に思うに至った。

天然記念物指定以前の県内における印刷物の記録にはいまだ行き当たっていない。しかしながら、オカヤドカリが指定前に高知市の日曜市で売られていたことから、その存在が高知市民に知られていたのは明らかであろう。私事で恐縮だが筆者は1965年に高知大学に入学し、学寮でしばらく生活していた。日曜市が立つ追手筋とは目と鼻の先である。さまざまな日本鶏にも驚かされたが、衝撃的だったのは何と言ってもオカヤドカリである。当時の日曜市の個体が高知県産かどうかを調べたことはないが、後述するように、おそらく1950年代の中頃に高知市以外でもオカヤドカリと県民に接点があったことが明白となった。

野生の天然記念物は緊急の事態を除き、研究者といえども許可なく触れることができない。ところが、ペットとしてのオカヤドカリは現在でも日曜市の片隅に並ぶインターネットでも購入可能で、特異な天然記念物である。これらは許可を得た人たちが沖縄県で集めた個体であり、九州以北の個体にはそのような例外は適用されない。オカヤドカリは小笠原諸島での個体数の減少を受け天然記念物に指定された(有馬, 2014)。小笠原諸島の本土復帰は1968年で、沖縄県の本土復帰は1972年である。微妙な年数であるが、本土に復帰するまで、沖縄県のオカヤドカリは日本国の天然記念物ではなかった。余談だが、筆者の大学時代の同級生と2学年上の先輩に沖縄県出身者がいた。彼らは留学生で仕送りは米ドル、高知市での換金場所は某銀行の本店のみだった。さて、復帰前からオカヤドカリの販売を生活の糧としていた沖縄県の人たちにとって法の厳密な適用は困難だったのは明らかで、これが今日の例外的なオカヤドカリの存在へと繋がっている。

2014年6月16日に高知県レッドデータブック〔動物編〕の改訂作業がスタートした。初版は2002年の発行であるから、のんびりした話である。初版では哺乳類



室戸ジオパークのムラサキオカヤドカリ(2015年5月23日)

高知市文化振興事業団



お正月に向けて、高知の里山の松や竹、ウラジロなどをを使って、門松を作る教室が、十二月六日(日)にかるぼーと絵画室で開催されました。

講師の高知県シェアリングネイチャー協会兼松憲一理事長から「門松には、『人間に災いをもたらす禍神が家に入らないように』との意味が込められ、また『歳神様の依代』である」といういわれや、平安時代から

鎌倉、江戸へと時代がうつるにつれて、門松への思いや形も変わってきたというお話をいただき、参加者は熱心に耳を傾けました。

そのあと、台座作りや、芯組み、しめ縄の巻き方に苦勞しながらも、約二時間で直径約十五センチ、高さ約四十五センチの一对の門松を製作。参加者たちは、長い時間と手間をかけ、家族の幸せを願いながら正月の準備をしていた先人たちの思い、門松を完成させました。

自然の移ろいや小さな命を忘れて、自己中心な考え方に走りがちな現代の私たちの生き方に、少し立ち止まって、人間と自然の共存共栄を思い、先人たちが私たちに残してくれた知恵をものづくりから学んだ一日でした。

〈参加者数 十八名〉

11月~12月の事業から

World Music Night vol.20

二〇一五年十一月二十六日、かるぼーと小ホールにおいて、ワールドミュージックナイトvol.20を開催しました。二〇〇八年十月三十日にかかるぼーと三階ガレリアにて始まったワールドミュージックナイトも今回で二十回目を迎え、それを記念してワンドリンクプレゼント&WMN特製コースターの配布というスペシャルなサービスを行い、大変好評を頂きました。

そして記念すべき二十回目のメインアクトは、四年前に行われたワールドミュージックナイトvol.8で、最高のパフォーマンスを魅せた南米ウルグアイのパークッションユニット「ドス・オリエンタレス feat. レイ・タンボール」。前半はドス・オリエンタレスの二人、ピアノのウーゴ・ファルトーソンさんと、パークッションのヤビロトモヒロさんの演奏で、シンブルな構成だからこそ、二人の高い技量が際立つ素晴らしいパフォーマンスでした。

の三人とウーゴさんの奥さんのアルバナ・パロッカスさんが加わり、一気にパワーが増した演奏で、会場がどんでんヒートアップしていききました。

地元高知からはア・カペラコーラスグループ「アーステイズシンガーズ」とマルチプレーヤーのやまゆうさんがコラボし、オーブニングアクトとして楽しそうな歌声で会場を盛り上げました。

今回で二十回目を迎えたワールドミュージックナイト。これからも勢いを止めることなく三十回、四十回を目指して走って行きますので、世界の音楽と料理を楽しむ夕べに酔いしれたい皆さま、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

〈入場者数・百二十名〉



高知市文化振興事業団サポーターズクラブ 会員募集中

高知市文化振興事業団賛助会員制度は、昭和63年に創設しましたが、この度、この制度を一新します。新しいサポーターズクラブでは、これまで以上に芸術・文化等に親しみやすくなるように、会員に対して次のような特典を設けることにします。文化振興事業団の活動に賛同していただける多くの方々の入会をお待ちしています。

高知市文化振興事業団サポーターズクラブ Culちゃーず

- 特典**
- ①事業団主催公演につき、年間1公演招待(事業団指定の公演から選択)
 - ②事業団窓口での購入に限り、事業団主催公演チケットの割引販売(全公演対象、概ね1割引)
 - ③横山隆一記念まんが館企画展招待
 - ④「文化高知」の送付(5月号~3月号、1年間全6号分)
- 会費**
- 1年間3,000円(4月1日~3月31日、年度途中での入会でも3月31日まで)
- ※平成28年度より新制度が始まります。

お申し込み・お問い合わせは、高知市文化振興事業団 088-883-5071 まで

高知市立中央公民館事業

市民学校年末特別教室 「手作り門松でお正月を迎えよう」

第二十六回 高知出版学術賞 推薦募集

優れた学術研究の振興は、文化や出版の向上のみならず、広く高知県の発展に貢献します。「高知出版学術賞」は、当該年における最も優れた学術出版を顕彰することによって、学術研究の振興を図り、県勢の進展に資することを目的としています。

【対象】
①高知県内に在住する者の学術的著述、または他県在住者で高知県に関する事項をテーマにした学術的著述。
②二〇一五年(月)一日~十二月三十一日に発行された単行本(発行日は発行の日付による)。

【推薦】
推薦は自薦・他薦を問いません。必要事項を所定の推薦書に記入し、該当図書三冊を添えて審査委員会へ提出してください(図書は、申し出により審査後に二部まで返却します)。推薦書は事業団ホームページからダウンロードできますのでご利用下さい。受付締切二〇一六年(月)三十一日(日)。

【表彰】
高知出版学術賞を三以内とし、賞状と賞金十万円、特別賞を二以内とし、賞状と賞金五万円を贈ります。

推薦・お問い合わせ先
〒780-8529 高知市九反田 2-1
(公財) 高知市文化振興事業団内
高知出版学術賞審査委員会
Tel:088-883-5071
Fax:088-883-5069
e-mail:kikaku@kfca.jp
http://www.kfca.jp

高知市文化振興事業団 出版物のご案内



高知県方言辞典
土居重俊・浜田数義 編
—土佐の言葉の集大成。おくにのこことばをしらんでいくかよ!

古語から現代語にいたる土佐言葉 14,700 余の意味、用例、使用地点等を明示、注釈も加えた土佐方言唯一最大の辞書。(昭和六十年刊)
価格 6,480 円 (本体価格 6,000 円+消費税)

読み物から研究書まで。地域の芸術・文化に関わりの深い書籍たち
高知市文化振興事業団出版物 詳しくはホームページまたは088-883-5071 へ



第10回美術作品コンクール Concours des Tableaux 企画展

上島豊正展 一 旋回するノスタルジー

日時 | 2016年1月12日(火)~17日(日) 10:00~19:00 ※最終日は17:00まで

会場 | 高知市文化プラザかるぼーと7階 市民ギャラリー第5展示室 ※入場無料

関連企画 | 1月17日(日) 15:00~

作家と義太夫・竹本美園さんによる、絵本作「薩摩図」を用いたパフォーマンス
※14:00~14:45はパフォーマンスの準備のため入場不可

主催 | 高知市文化振興事業団(088-883-5071)

風伯

学ぶ機会

という。出所者の半数が刑務所に再犯者として舞い戻ってくるが、驚いたことに「卒業生は就職にも有利で、精神的にも成長し再収監率はわずか二%」に過ぎないのだという。

この記事を読み、学ぼうという気持ちさえあれば、その機会を与えてくれる社会の仕組みが大事なのだと思つた。刑務所で手に職をつけるということだ。

「13号棟には講義室、図書館、コンピュータ室がそろっている。講義室では、緑色の制服に身を包んだ男性らが神妙な顔つきで、先生の話を聞いていた。この日の授業は、ダーウィンの進化論だ」

これはニューヨークのある刑務所を取材した記事で、ここで学んだ卒業生は本物の学位を受け取ることができるといふ。



伊藤キム 振付・演出 高知 GERO活動 プロジェクト公演

鋭敏の振付家・パフォーマー、伊藤キムが10年の沈黙を経て新たに立ち上げるフィジカルシアターカンパニー「GERO」の地方プロジェクト。カンパニーメンバーと地域の表現者の協働により制作した作品を発表します。「身体と声・ことばのかかわり」をテーマにする新たな表現手法に乞うご期待。

■日時
2016年1月31日(日) 13:30開場 14:00開演
※終演後アフタートークを予定しています。

■会場
高知市文化プラザかるぼーと 小ホール

■料金
入場無料 全席自由

■お問い合わせ
高知市文化振興事業団 088-883-5071

今号の表紙

「見たい 聞きたい 言いたい」
前田ひな子

2016年の干支の申と三猿をかけた。文化高知への興味が湧いてほしいという思いから三猿の意味を反対にしました。

(まえだ ひなこ / 国際デザイン・ビューティカレッジ1年生)

なく、なによりも学ぶことにより精神性を高めることが、犯罪率を下げていることにつながる。

刑務所はさておき、日本の教育を受ける機会はどうだろう。試験を受けて受かったものだけを拾い上げる。逆にいると受からないものを振り落とす。逆になることになる。大学の受験結果発表の風景がよく報道されるが、その何倍かの若者が振り落とされている現状には目を向けたい。

最近の犯罪の凶悪化や低年齢化、子どもに対する虐待。人が生きるとはどういふことなのか、生きる悲しみや喜びはどういふことなのか、そんな実務に役に立たない教育を受ける機会こそが、こうした若者の犯罪を防ぐことに繋がるのではないか。

それに子どもを育てることの面白さや子どもの凄さ感じとれるのも、教育なのではないかと思う。教育にかかる費用よりも犯罪率の低減が、社会に与えるプラス効果はるかに大きいはずなのだ。

(霖)



水行

(平成25年要法寺)

森田 清一

高知を撮る

第31回写真コンテスト入賞作品

要法寺で毎年節分の日に仕職が人々の幸せと平和を願って行われています。水行は人々の心を引きしめてやまない。

テレビを読書する

子ども時代からの活字人間である。学生時代は、一年くらいテレビを見なくても平気だった。本と新聞があれば困ることは何もなく、そもそもテレビの画面を見るのが苦痛だった。

それが、あるときからテレビにハマった。VHSのビデオデッキで、録画した番組を見るようになってからだ。

驚いたことに、録画したテレビ番組は生で見るテレビ番組と全く違っていった。録画した番組は、途中で中断できる。巻き戻しが可能。送りも可能。つまり、こちらがコントロールできる。とても具合がいい。

なぜテレビを見るのが苦痛だったのかということに、このとき気がついた。

生で見るテレビ番組はコントロールできない。逆にこちらがコントロールされる。本を読むことがそこが違うのだ。

テレビには、決められた番組表があり、テレビはこのスケジュールを貫徹する。番組を見ようとすればこのスケジュールに従わざるを得ない。オーバーに言うと、テレビが主人になり、こちらは奴隷



風俗歳時記

媒体の違いはあるにしても。近頃は、録画した番組タイトルを一覧しているとき、書店で本の背表紙を眺めているような気分になる。

ところで、本と録画は欠点まで似ている。本が書庫からあふれ出て困るように、録画した番組も増え続けて止まらないのである。

(本の虫)

なる。

ところが、録画した番組を見るときは、こちらが主人だ。テレビ画面と「主体的」にかかわることが出来る。

そのことに気がついたらテレビを見るのが嫌いでなくなった。今では毎晩、DVDレコーダーを仕掛けるのに余念がない。レコーダーのハードディスクはすでに満杯。大容量の外付けハードディスクを4つ購入し、これも間もなくいっぱいになる。

録画番組を見ることは、読書とまことに似ている。取捨選択しつつ、精読したり、速読したりできるところ。主体的に情報とかかわるところ。こういう点は共通している。映像・音声と活字という、

高度成長 拓
美空ひばり 環境破壊

富良野GROUP公演2016冬

学童疎開 駐

作・演出 倉本 聰

倉本聰が描く 日本の家族史

平成28年2月18日(木) 18時30分開演 (18時00分開場)
高知市文化プラザかるぽーと大ホール 高知県高知市九反田2-1
お問い合わせ 公益財団法人高知市文化振興事業団 088-883-5071
<http://www.bunkaplaza.or.jp>

【主催】 公益財団法人高知市文化振興事業団
【協力】 (公財) 北海道演劇財団、劇近畿日本ツーリスト北海道
【企画・制作】 フラン・クリエイティブ・シンジケート (F.C.S.)

平成27年度文化庁
劇場・音楽堂等
活性化事業